

平成28年度

# 学校評価報告書

(自己評価・学校関係者評価)

平成29年3月17日(金)

沖縄県立南部商業高等学校

沖縄県立やえせ高等支援学校

# 1 平成28年度学校評価の基本方針及び実施概要

## (1) 基本方針

- ①本校生徒、保護者、教職員に対して学校評価アンケートを実施する。
- ②学校評価アンケート及び学校状況資料（取り組み・勤怠・成績等）に基づき「学校評価（自己評価）報告書」を作成する。
- ③「学校評価（自己評価）報告書」について、学校評議員及びPTA評議員会より意見・要望等を聴取する。
- ④「学校評価（自己評価）報告書」は本校ホームページ上で保護者に公表する。

## (2) 学校評価アンケートの概要

①対象 生徒、保護者、教職員

②質問項目

1) 生徒アンケート

- ・「学校生活」「学習指導」「商業教育」「進路指導」「生徒指導」「教育環境」の15項目
- ・4段階評価「4点ともてそう思う」「3点そう思う」「2点あまり思わない」「1点全く思わない」
- ・インターネットによる回答、授業内で実施

2) 保護者アンケート

- ・「学校生活」「学習指導」「商業教育」「進路指導」「生徒指導」「教育環境」「学校運営」の18項目
- ・4段階評価「4点ともてそう思う」「3点そう思う」「2点あまり思わない」「1点全く思わない」
- ・アンケート用紙の配布とインターネットによる回答の併用
- ・依頼文書を配布

3) 教職員アンケート

- ・「学校生活」「学習指導」「商業教育」「進路指導」「生徒指導」「教育環境」「学校運営」の19項目
- ・4段階評価「4点ともてそう思う」「3点そう思う」「2点あまり思わない」「1点全く思わない」
- ・学校評価に係るアンケートとは別に「学校課題」に関するアンケートを実施した。
- ・インターネットによる回答

## (3) 日程

- |          |                   |                    |
|----------|-------------------|--------------------|
| 2/ 1 (水) | 職員朝礼提案            | → 2/3 (金) まで意見徴収期間 |
| 2/ 6 (月) | 保護者アンケート依頼文配布     |                    |
| 2/ 6 (月) | 3年生アンケート実施        | ～2/10 (金)          |
| 2/ 6 (月) | 1・2年生アンケート実施      | ～2/24 (金)          |
| 2/ 6 (月) | 保護者アンケート実施        | ～2/21 (火)          |
| 2/ 6 (月) | 教職員アンケート実施        | ～2/21 (火)          |
| 2/ 8 (水) | PTA総務委員会にて実施      |                    |
| 2/21 (火) | アンケート集計・分析        | ～3/9 (木)           |
| 3月上旬     | PTA総務部会への報告・評価    |                    |
| 3/10 (金) | 学校評議員へ評価結果の事前送付   |                    |
| 3/17 (金) | 学校評議員への報告・評価      |                    |
| 3/21 (火) | 教育庁報告、PTA評議員会へ報告  |                    |
| 3/24 (金) | 学校Webページ掲載・職員会議報告 |                    |

## 2 学校評価（自己評価）

### 【南部商業】

#### (1)生徒アンケート

設問14「清掃・きれいな学校」では、平均 2.7 の評価となっている。自由記述欄の回答には、校舎及び施設そのものの古さの指摘もあがっているが、校舎内外の清掃活動の徹底も必要だと考えられる。

設問1「学校は楽しい」への肯定的な回答が 68.3%、否定的な回答は 31.7%だった。否定的な回答を学年別にみると、1学年 29.8%、2学年 35.9%、3学年 27.7%となっており、「学校を楽しくない」と感じている生徒が2年生に多い。

学校を楽しくないと感じる要因をさぐるため、設問1「学校は楽しい」の項目で否定的な回答と設問2「わかりやすい授業」、設問4「学習支援」、設問8「進路相談」、設問13「相談しやすい」をクロス集計し、「学校を楽しくない」と感じている生徒の回答傾向を分析した(表1)

表1「全く楽しくない」生徒の回答傾向

	1 まったく思わない	2 あまりそう思わない	3 そう思う	4 とてもそう思う
設問2 わかりやすい授業	10.0%	34.4%	51.2%	4.4%
設問4 学習支援	6.7%	25.6%	42.2%	25.5%
設問8 進路相談	7.8%	31.1%	61.1%	0.0%
設問13 相談しやすい	11.1%	32.2%	30.0%	26.7%

「まったく思わない」「あまりそう思わない」の合計は、「わかりやすい授業」44.4%、「学習支援」32.3%、「進路相談」38.9%、「相談しやすい」43.3%となっている。「進路相談」の「とてもそう思う」の回答が 0.0%という結果がでているのが昨年度と異なる。このことから、授業改善はもちろんのこと、生徒との相談により時間をかけ、丁寧な進路指導を行うことによって生徒の学校満足度が高まる可能性がある。

#### (2)保護者アンケート

調査項目18項目中、全てにおいて平均が 3.0 以上であり、概ね肯定的な回答が得られている。否定的な回答が 20%を超えている項目は、設問1「学校が楽しそう」(21.7%)であった。次に多い項目は、設問12「バイク・深夜はいかい等指導」(18.18%)、設問14「清掃・きれいな学校」(18.8%)、設問8「進路について相談しやすい」(17.4%)であった。

今回の調査の回収率が 19%にとどまっており、情報公開及び家庭への連絡にいつそう努め、学校評価に対する保護者の関心を高める努力が必要である。

#### (3)教職員アンケート

調査項目25項目中10項目で平均 3.4 以上の A 評価となっている。教職員としては、意識をもって取り組み、成果として手応えを感じていると思われる。評価が低かった項目は、設問1「学校が楽しそう」、設問5「課題解決型の授業」、設問19「学校の重点目標に対する取組」であった。特に、設問1「学校が楽しそう」の項目では、平均 2.5 で C 評価となっている。生徒アンケート結果と同様な結果が表れている。

また、本校生徒の抱える課題に関しては、「学習意欲、授業態度、学習への姿勢」「基礎学力」が最優先自校と考えている。

学校課題に対する意識では、「部活動の活性化」「行事の精選」に関することを最優先課題とする教職員が最も多い。

#### (4)共通項目の分析

生徒・保護者・教職員の認識(評価)のズレをみるために、昨年同様アンケート項目に共通項目を設け実施した。

生徒・保護者・教職員の三者がともに A 評価とした項目は、設問6「商業教育」であった。販売実習、中学生向けマナー講座、社会人向けのパソコン講座や簿記講座、キッズビジネスタウン南商など、各学科の特色ある取り組みが評価されたと考えている。

また、設問1「学校は楽しい」の項目において、教職員は C 評価、生徒・保護者においては B 評価ではあるが他の項目と比較して低い評価となっている。生徒に対して、学校に来る喜び、充実感、満足感を与えられるような取組を継続して行う必要がある。

同様に、生徒・保護者・教職員が共通して低い評価となったのが、設問14「清掃・きれいな学校」の項目であった。昨年度、沖縄県の緑化コンクールにて準特選を受賞しているが、校舎内外の清掃指導を徹底していく必要がある。

## (5)年度比較の分析

昨年度の学校評価アンケート結果と今年度の結果を比較分析した。

生徒アンケートに関しては、若干の増減は見られるものの、全体的に同じような傾向・結果となっている。

保護者アンケートに関しては、全体的な傾向は同じであるが、設問8「進路相談」、設問9「規律・規範意識の指導」、設問11「飲酒・喫煙・薬物指導」の項目で評価が下がっている。今年度の結果が昨年度より評価が上がっている傾向にあるので、僅かとはいえ評価が下がっている項目については、検討すべき課題だと考える。

教職員アンケートに関しては、全体的に昨年度の結果より評価が下がっている。その中でも設問1「学校は楽しい」、設問9「規律・規範意識の指導」、設問14「清掃・きれいな学校」、設問19「重点目標についての取組」の項目において、評価が下がっていることが分かった。

## (6)体罰に関するアンケート調査結果について

生徒によるアンケート結果を受けて、以下の日程で再調査を行った。

3学年対象	2月9日(木)・10日(金)	記名式
1・2学年対象	3月2日(木)・3日(金)	記名式
職員対象	3月1日(水)～3日(金)	無記名式

その結果、「体罰を受けた」「体罰を見た」(生徒)「体罰あるいは体罰と誤解を受ける行為を行ったか」「体罰あるいは体罰と誤解を受ける行為を行ったか」(教職員)という問いに対して、「ある」という回答はなかった。結果として、今回の再調査で体罰の実態を確認することができなかった。

今後の対応について

- ・今後とも絶対に「体罰を起こさない」「起こさせない」雰囲気づくりと、教職員どうしによる協力・連携体制を強化し、体罰に頼らない指導を徹底する。
- ・生徒理解に基づく指導力の向上と組織的な指導体制の確立の構築を図る。
- ・体罰のない学校づくりに向けた校内研修の実施

## (7)いじめに関するアンケート調査結果について

今後の対応について

- ・いじめの問題に対して、教職員が協力して取り組み、迅速に対応できる校内体制の充実
- ・定期的な面談やアンケートの実施など、いじめの実態を把握する取組の充実
- ・いじめ防止にかかわる学校の指導について、生徒・保護者へ伝える取組の工夫
- ・生徒同士の好ましい人間関係を築くための取組の充実
- ・いじめのない学校づくりに向けた校内研修の実施
- ・教育相談係、スクールカウンセラーや教育相談・就学支援員の周知

## 【やえせ高支】

### (1)生徒アンケート

南部商業同様に、設問14「清掃・きれいな学校」では、平均 2.9 の C 評価となっている。

設問1「学校は楽しい」への肯定的な回答が 70.0%、否定的な回答は 30.0%だった。しかしながら、「思わない」という回答は無かった。否定的な回答をしている生徒について、他の項目との関連性を調べると、設問13「相談しやすい」が平均 2.3 と低い評価となっている。

### (2)保護者アンケート

調査項目18項目中、全てにおいて平均が3.2以上であり、概ね肯定的な回答が得られている。唯一、否定的な回答があったのが設問4「個別学習」の項目で 16.7%の結果が出ている。

### (3)教職員アンケート

調査項目25項目中17項目で平均3.4以上のA評価となっている。教職員としては、新設の学校として全てが手探り状態であるが、意欲をもって取り組み、成果として手応えを感じていると思われる。評価が低かった項目は、設問14「清掃・きれいな学校」の項目に関して平均 2.5 で C 評価となっており、生徒アンケート結果と同様な結果が表れている。

また、本校生徒の抱える課題に関しては、「基本的生活習慣」が最優先自校と考えている。

学校課題に対する意識では、「行事の精選」「やえせ高支との連携強化」に関することを最優先課題とする教職員が最も多い。

### (4)共通項目の分析

生徒・保護者・教職員の三者がともに A 評価とした項目は、設問5「課題解決の授業」、設問10「勤怠指導」であった。個に応じた学習及び丁寧な生徒指導が評価されたと考えている。

また、三者がともに一致した項目としては、設問1「学校は楽しい」、設問15「施設・備品」の項目において B 評価、設問14「清掃・きれいな学校」の項目において C 評価となっている。

### (5)体罰に関するアンケート調査結果について

やえせ高支の生徒からは、体罰に関する回答は無かった。

### (6)いじめに関するアンケート調査結果について

やえせ高支の生徒からは、いじめに関する回答が1件あるが、職員の確認では解決済みである。

### 3 学校関係者評価（自己評価に関する総括・指摘事項）

第3回学校評議員会において、学校評価（自己評価）の報告を行った後、学校評議員による学校関係者評価を実施した。

#### 平成 28 年度第 3 回学校評議員会

○日 時 平成 29 年 3 月 17 日 11 時～ 13 時

○場 所 県立南部商業高等学校小会議室

○評議員

山入端 恵 子 元首里高校校長

福 田 英 昭 琉球大学教育学部教授

宮 城 健 元南部商業高校PTA会長

崎 原 研 司 元友寄東ハイツ自治会長

#### 評議員 A

学校評価、アンケートからも先生方が指導を一生懸命行っている。多感な時期の生徒指導等もご苦労がうかがえる。分析も細かく行われている。

校則禁止されている事項（休み時間の携帯使用禁止など）生徒の要求に対してどの指導されているのか。生徒の希望と職員の理想とする生徒像に差があるように感じた。

#### 評議員 B

アンケート結果では商業教育、進路指導、生徒指導での評価が高くよかった。

「もっと生徒に向き合ってほしい」という素直な意見が出ている点も良いと感じた。その一方で生徒と職員が同等というような意見は違うと感じた。

弁当の値段についての意見や修学旅行を希望する意見がある。

元 PTA 会長の立場から PTA 活動・地域活動の項目に関心があるが、やえせ高支の保護者の方が取組、活動が盛んである。

合格発表の掲示を見て少ないと感じた。部活動加入者増への取組みを行い志願者数の増に繋がることを期待します。

#### 評議員 C

校舎が古いという意見があれば、どう改善すればよいかを学習内容に取り組むと良い。指摘は課題解決のきっかけになる。自分達で解決する道筋を立てることが大事。

部活加入や進路指導も基本は個別やグループ指導である。アクティブラーニングを取り入れ問題をもっている生徒から広げていくとよいと思います。

はなさき分校では紙すき作業をサポートしている。外部の方を中に入れる、接点を持つ、自分たちから出て行く事が大事。外から人が来れば、清掃やマナーなどは必然とやらなければならない状況になる。

懸垂幕（合格者等）は励みになる。身近な先輩はよいロールモデルとなる。

#### 評議員 D

学校は楽しいという項目をみると高校生活は友人関係が主であると思われるが、やはり大半を占める日々の授業が楽しいことが重要かと感じた。部活動の課題は人数の問題もあり、空手やボートなど個人競技で1人でも特技のある子を主体にして繋げて行ければと思う。

求められている商業人の指導、進路開拓等引き続き頑張ってもらいたい。

今の時代は物が有り余っている。自分たちで心地よい環境をどのように作り出すかという指導もしてほしい。自発的に行うため生徒会活動活性化が望まれる。

いじめに関する調査では「殺す」という言葉が出てくることが大変気になる。中身がよく見えなくはつきりさせなければいけないと感じた。

これからも良い学校づくりのためご尽力願いたい。

## 総括

学校評議員の意見から、学校の取り組みについて概ね評価して頂いた。友人関係、日々の授業、部活動の活性化などを通して、生徒が「学校を楽しみ」と感じる取組をさらに進めていく。

また、アンケートで見えてきた課題については、生徒自身にも問題意識をもたせ主体的に解決・改善できるように取り組みたい。